

つやまビジネス通信はつやま産業支援センターがお届けする情報誌です。

1. 早瀬食品の新製品が受賞
2. (連載)津山Bizオリジナル マーケティング教室
3. 津山ブランド 東京のアンテナショップで大好評
4. 役に立つイベントのご案内（2月分～）



第6回 異業種連携プラットフォーム 開催

2月1日に第6回異業種連携プラットフォームを開催しました。市内外の様々な分野の企業、支援機関、専門家など約70名の参加者が集い、盛況となりました。

開会に先立ちまして、会場横の駐車場で、(株)パドックが開発した新型トラックの実演が行われました。これは、トラックの荷台を真横に水平に降ろすシステムを、市内企業が協力して開発したもので、既に特許も取得した新しいシステムです。今後、運送や工事現場など様々な分野への展開が期待されます。



特別講演では「JAXAのオープン・イノベーション紹介」と題し、宇宙航空研究開発機構 新事業促進部 参与 中本善博氏にご講演をいただきました。宇宙服などの開発の技術は、様々な技術の集大成であり、それぞれの技術を民間企業と連携し、研究・開発していること、また、その技術を応用したものが新商品として世に出回っていることなど、宇宙が身近に感じられる内容でした。

また、コラボ事例などの発表では、あば地区地域おこし協力隊 谷口氏による、「阿波地域産りんごを使用したラ・プロヴァンスのケーキ」や「食育や環境教育などをテーマにしたツーリズム」などの紹介、(株)パドック 岡本氏による先述の新型トラックの紹介がありました。

当センターが現在取り組んでいる「津山スタイル」の紹介と参加の呼びかけも行いました。「津山スタイル」とは、津山地域の強みである木材や様々な素材の加工技術を生かした、上質でスタイリッシュな住空間やライフスタイルを提案する新たな地域ブランドとして立ち上げた、津山地域の企業によるコラボ製品群のことを指します。

さらに、倉敷帆布で有名な(株)タケヤリの事業展開・商品の説明や、Ablabo. 大林氏による新製品「向日葵油」、工業デザインなどを手掛けるデザイン

・モリ森氏によるモノづくり・商品化のサポートについてお話がありました。

恒例の交流会では、自社の問題解決や新商品開発のため、各自連携したい企業と積極的にお話をされており、予定時間を超える大盛況でした。

また、展示物を持参していた企業の展示ブース前には多くの人が集まっており、異業種連携プラットフォームの見学に来ていた津山東高校の生徒も展示ブースを熱心に見て回っていました。



早瀬食品の新製品が受賞

2月15日から17日までに幕張メッセで開催される「第51回スーパーマーケット・トレードショー2017」に出展する、早瀬食品の「風船とうふ 美作大豆こうじ君」が「スーパーで買いたい! フード30選」に選ばれました。同社は昨年の「美作とうふ青大豆」に次いで2年連続の受賞です。



同ショーは日本最大級の商談展示会で、この30選には871点がエントリーし、料理研究家や一般消費者が味や見た目などを総合評価し、30点が選ばれました。

同商品は、美作大豆を使用した豆乳に、米こうじ（甘酒）を練り込み、風船に充てん。風船に充てんすることで、賞味期限が保存料なしで7日間に。無添加にこだわり、甘酒の天然の甘みをそのまま閉じ込めた、健康志向で安心・安全なスイーツ感覚のとうふ。食べるときは風船をつまようじで割り、お好みできな粉や黒みつと一緒に。

今月から首都圏や近隣各県のスーパーなどで販売し、津山市内では今春以降の予定。津山地域産食材の消費拡大にも期待されます。

スーパーで買いたいフード30選

第51回「スーパーマーケット・トレードショー2017」に出展する、早瀬食品（福井）の「風船とうふ 美作大豆こうじ君」が、「スーパーで買いたい! フード30選」に入った。同社は昨年の「美作とうふ青大豆」に次いで2年連続の受賞。

「風船とうふ」は、とうふに美作大豆を使用した豆乳を練り込み、米こうじ（甘酒）を練り込み、風船に充てんすることで、賞味期限が保存料なしで7日間に。無添加にこだわり、甘酒の天然の甘みをそのまま閉じ込めた、健康志向で安心・安全なスイーツ感覚のとうふ。食べるときは風船をつまようじで割り、お好みできな粉や黒みつと一緒に。

福井の早瀬食品 2年連続2回目 新食感のスイーツ



H29.2.1 津山朝日新聞

風船とうふ 美作大豆こうじ君

津山Biz オリジナル マーケティング教室

No.26 中小企業によるイノベーションの進め方①

前号では中小企業こそが「イノベーション」の大きな潜在力を持つことについて書きました。今回は実際にどうすればイノベーションを実現できるか考えてみましょう。

イノベーションで大切なのは自社の強みを活かすことです。従ってまず自社の強みが何かを整理することが必要となります。時代が大きく変化する中で長年事業を継続しているわけですから貴社には必ず何か強みがあるということです。だからこそ顧客に支えられてここまでやってきているのであり、この強みを生かすことが貴社の成長につながります。

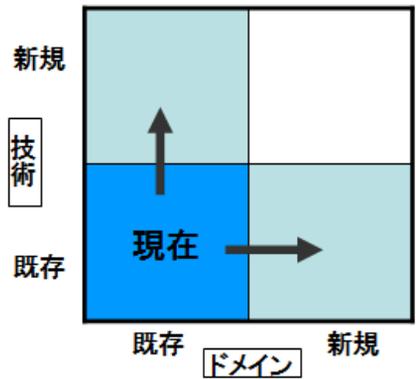
しかし自社の強みをよく知らない、あるいは勘違いしている中小企業が案外多いのが現実です。特に下請け事業が中心の企業に聞くと、自社の強みは「技術力」だと言われることがよくありますが、それではあまりに抽象的なもので、もう少し掘り下げないと現実味が出ません。強みとは相対的なもので、他の企業よりも顕著に優れていることが前提です。そのため、他社の技術と自社の技術を比較しながら、具体的にどの技術がどういう理由で強いというように特定をしていくことが大切です。

もし自社の強みがよくわからない場合は、例えば繰り返し購入してもらっている商品が何かを調べその購入理由を確認する、あるいはリピート顧客にすばり自社の何を評価しているかを聞いてみると意外に気づけなかった自社の実力が判明することがあります。

自社の強みがわかったら、今度はそれを活かせる対象について検討します。その際は図のようなマトリックスを基にするとわかりやすくなります。基本は、④自社の技術を活かして新しい市場に向けた商品を開発するか、③自社が強い業界を深掘するために新たな技術開発を行うかです。

Tsuyama-Biz Marketing

現在の事業に隣接するどちらかの領域で事業の展開を考える



時々、現在の事業環境が悪いからと本業と全く関連のない新事業を始めようとする経営者を見かけますが、それは必ずしもお勧めできません。ポーカーゲームで手が悪いからと全部のカードを取り替えるようなもので、それは一種の賭け事です。中小企業の場合は手持ちの資源が限られていますから、あまり極端なリスクをとると命取りになることがあります。自社の持ち味や地の利を生かしながら展開することがベターです。

中小企業の場合は「手堅くイノベーション」という考え方が有効です。発想は大胆に、しかし実行の仕方は小さく始めて大きく育てるということです。貴社の強みを活かした革新を少しずつ、しかし確実に進めていくのです。将来の方向性や戦略に悩んでおられる場合は、当センターもお手伝いできます。お悩みの方はぜひご相談下さい。(小坂 幸彦)

津山ブランド 東京のアンテナショップで大好評

2月8日から2月14日まで、東京のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」にて、当センターと津山市地域雇用創造協議会とが共同でPRイベント「ファクトリーブランドバレンタインフェア」を開催しました。

「Made in Tsuyama」から、ジーンズ（有）内田縫製）とネクタイ（株）笏本縫製）が出展し、前回を上回る盛況となりました。

一度に複数本をお求めになられる方や、「良かった。もう1本欲しい。」と以前お求めになられた方が今回も来場されるなど、消費者の品質への関心の高さをうかがわれました。



また、購入者の声を直接聞け、今後の商品開発に活かせることと思います。

消費者の感想などを直接聞き、自社製品に反映させることは「売れる商品」を作るうえでとても重要なことです。当センターでは、このような機会を今後も増やしていきますので、ご関心のある企業はぜひご相談ください。



平成28年度つやま産業塾 第2回 市民公開講座

講演「北海道の東川町に学ぶ 人口が増えるまちづくり」開催

受講者
募集中

地方は人口が減るもの、という常識をくつがえし、22年間人口を増やし続けている町があります。

全国から人を引き寄せる街の魅力づくりについて、東川町長をお招きし、直接お話を伺います。

平成29年 2月25日(土)
14:00~16:00(開場13:30)

【会場】美作大学 100周年記念館5階(津山市北園50)

参加
無料



講師 北海道上川郡東川町
町長 松岡 市郎 氏

北海道の内陸部にある東川町は、駅も国道もなく、冬は時に-20℃にもなる小さな町です。しかし、この町には全国から移住が相次ぎ、この20年で人口は14%も増え、今なお増加を続けています。ユニークな取り組みや感動のストーリーが注目を集め、最近ではテレビなどでも取り上げられています。

東川町はここがすごい！！

- 人口が20年で1000人以上増加
- 新しいことに挑戦し続ける街
- 全員で力を合わせて本当に好きな街をつくる

お申し込み・
お問い合わせ先

津山市人づくり事業運営委員会事務局(津山市みらい産業課内) 担当:矢野、金田
Tel.0868-24-0740 Fax0868-24-0881 E-mail:info@tsuyama-biz.jp



よろず支援拠点のご案内

お問合せ・相談お申し込み先
岡山県よろず支援拠点
電話 086-286-9667

津山商工会議所

月曜日 13時～20時
水曜日 9時～17時
会場：津山商工会議所

作州津山商工会

毎月第2水曜日 9時～17時
会場：【偶数月】作州津山商工会本部会館
【奇数月】作州津山商工会久米支所会館

役に立つイベント等のご案内(2月分～)

日付	イベント名等	概要	時間	会場	※
2月	25 創業相談会	おかやまインキュベータ協議会及び、岡山県立図書館では、地域における新産業創出の担い手となるチャレンジ精神を持った育成し、質の高い創業支援を行うことを目的として「創業相談会」を開催します。	13:00～17:00	岡山県立図書館	①
	27 営業秘密・知財戦略セミナー in岡山	独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、「営業秘密・知財戦略セミナー in岡山 ～あなたの会社の独自技術をしっかりと守り、活かすために～」を開催します。 近年、重要な技術情報が第三者へ漏洩する技術流出が問題となっており、大企業に限らず中小企業においても大きな経営リスクとなっています。 また、貴社に新たなアイデアやノウハウが生まれた際に、特許による権利化を行うか、営業秘密として秘匿化するかなどといった知財戦略が経営上、重要となっています。	14:00～17:50	第一セントラルビル1号館	⑤
	28 平成28年度 岡山県よろず支援拠点支援事例発表会	岡山県よろず支援拠点では開設より3年間、専門的な立場から中小企業や小規模事業者に対して様々な支援を実施しました。『成功事例から見る、「よろず」の賢い活用法』と題して実績及び事例の紹介をすることで、「よろず」の賢い活用法をご理解いただきます。	14:00～17:00	メルパルク岡山	④
3月	1 岡山県知財支援窓口 津山サテライト窓口	中小企業の知的財産(知財)の悩みや課題に対応します。	10:00～15:00	つやま産業支援センター	② ③
	8 パソコン&ネットワークのトラブル解決 実務者研修	岡山県と(公財)岡山県産業振興財団では、中小企業のIT担当者の養成を支援すべく、「パソコン&ネットワークのトラブル解決 実務者研修」を開催します。 様々な脅威に晒されている現在、情報セキュリティをはじめ、正しい知識を持って対応することが重要です。職場内でパソコンやネットワーク、メールの安全な運用ができるよう学習します。 【受講料：財団会員2,160円、非会員4,320円】	9:30～16:30	テクノサポート岡山	①
	10 次世代産業に関わる大学・高専シーズ発信会	岡山県と(公財)岡山県産業振興財団では、新エネルギー、次世代エレクトロニクス等に係る次世代産業分野に関し、「次世代産業研究開発プロジェクト創成事業費補助金」による支援を行っています。 今回、この次世代産業分野に係る「県内大学・高専・工業技術センターによるシーズ発信」及び、「共同研究や補助金に関する相談会」を開催します。	13:00～16:50	岡山プラザホテル	①
	15 岡山県知財支援窓口 津山サテライト窓口	中小企業の知的財産(知財)の悩みや課題に対応します。	10:00～15:00	つやま産業支援センター	② ③
16 出前よろず支援拠点 @中国銀行	各分野のスペシャリストが総合的なアドバイスを実施致します。	9:30～16:00	中国銀行津山支店	④	
4月	4 5 平成29年度 岡山県中小企業合同入社式・新入社員研修	(公財)岡山県産業振興財団では、岡山県内中小企業の合同入社式と新入社員研修を開催します。 企業の宝である人材が、即戦力として活躍するには、まず社会人としての心構えや社会人としてのルールをしっかりと身につけることが大切です。本研修では「ビジネスの基本知識」「仕事の進め方の基本」「ビジネス文書の作り方」「自己開発計画の作成」などを2日間で習得していただきます。 貴社の新入社員教育の一環としてご活用ください。 【受講料：財団会員25,000円、非会員35,000円】	9:00～17:00	テクノサポート岡山	①

※お問い合わせ先 ①(公財)岡山県産業振興財団 TEL086-286-9626 ②つやま産業支援センター TEL0868-24-0740
③岡山県知財総合支援窓口 TEL086-286-9711 ④岡山県よろず支援拠点 TEL086-285-9667
⑤セミナー事務局：(株)日本旅行 公務法人営業部 ECP営業部 TEL03-5402-6401

